



▼ 1チーム3人。円形の標的をめがけローラーを転がす



## カ だみコミュニティークラブが交流会 ローリングで広がるみんなの輪

氷上でおこなわれるスポーツカーリングの室内版が、カローリング。2月1日只見中学校体育館でおこなわれたカローリング交流会に38人が参加しました。はなわふれあいスポーツクラブの佐藤光一氏、藤田健氏が、ゲームのルールや技術をわかりやすく指導しました。参加者は、「初めて会った人たちとも楽しくでき、世代を越えて楽しめる」と話していました。



▼ 雪まつりにむけて最後の仕上げ練習に取り組む



## 梁取太々神楽を継承

### 雪まつりで 若い担い手がデビュー

県無形民俗文化財に指定されている梁取神楽。2月14日の只見ふるさとの雪まつりのオープニングで、伝統の技を引き継いだ30代の若手による神楽が演じられます。若者たちはこれまで、先輩の厳しい指導を受けながら、集落内の行事で神楽を披露するなどし、技を磨いてきました。親の世代から子の世代へ伝統芸能を引き継ぐことに成功した梁取芸能保存会。これからの活動が注目されます。

▼ 楽しく対話方式で指導する佐竹先生



## イ 発酵を学ぼう！ イーストを使った料理教室

「発酵を学ぼう！」と題して、イーストを使った料理教室が朝日地区センターでおこなわれました。

講師に只見高等学校の佐竹美智子先生を迎え、1月15日、22日、29日の3回に渡り、ピザ、パン、中華まんの作り方を学びました。参加した14人は1時間ほどでふくら焼きあがるパンに「こんなに手軽に作れるなんてびっくり！」と、調理終了後、先生にいろいろな質問を投げかけ、次回の教室開催を希望していました。

▼ 2回の教室で全員が滑れるようになった



## 若 初めてでも滑れるようになりました 若者スノーボード教室

南郷スキー場を会場に1月18日、25日おこなわれた明和地区センター若者スノーボード教室で、元プロスノーボーダーの山内征久さんから参加者7人が基礎技術を学びました。初めて滑る参加者が3人いましたが、山内さんの的確な指導で全員滑れるようになりました。ゲレンデは若者の交流の場ともなり、和やかな教室となりました。

## 「只見地区センター冬季講座 只見に学ぼう！」古文書判読講座

1月20日から只見地区センターでおこなわれている古文書判読講座は、講師を置かずに受講者同志で調べながら読み進めています。只見に残る古文書や、町内の渡部喜満さんが昨年自費出版された「風俗帳」を基に、受講者が声に出して読みながら、その当時の歴史や文化について学んでいます。1回目の20日は、「伝説義経の粟証文」という内容の古文書を読みました。



▲ 只見の文化の奥深さや先人の知恵にふれる

## 粘 シルバーアクセサリ体験講座 土が銀に変身

1月23日、30日明和地区センターで、銀粘土技能認定者の鈴木久美さんを講師に、シルバーアクセサリ体験講座が開かれました。参加した7人は銀粘土という素材を使って、ペンダントトップを作りました。美しい純銀になる粘土に、参加者は最初、半信半疑でしたが、完成した作品の手作りとは思えない輝きに全員感激していました。



▲ ブラシを使って磨くと純銀の輝きが